

北海道学び推進月間の取組

十勝教育局
平成30年11月27日

北海道教育委員会では、毎年4月と11月を「北海道学び推進月間」と定め、学力向上のための各種事業に重点的に取り組むとともに、家庭学習や読書などを奨励する広報啓発活動を通して、家庭や地域における学びの取組を一層推進することにより、「確かな学力」の向上を目指しています。

春と秋の「北海道学び推進月間」では、学校や家庭、地域において様々な取組が行われました。特色ある取組を紹介しますので、今後の取組の充実を図るため参考として御活用いただければと思います。

○ 北海道春の学び推進月間の取組

授業のユニバーサルデザイン化を実現する全校的取組

北海道大樹高等学校では、新年度より引き続き「誰もが分かりやすい授業」づくりをテーマとして、授業改善に取り組んでいます。授業の構造化・焦点化を図りながら、ICTを活用しての視覚化やグループワークにも積極的に取り組みながら独自のシートを用いて定期的に全教員が「UD化チェック」を行っています。



【校内研修の様子】

また、東京都日野市教委の特別支援教育総合コーディネーターを講師に招いて校内研修会を実施し、参加者からは「毎授業時間の目標を明確にし、どの生徒も深く考え、学び合うことができる授業づくりをしていきたい」などの感想が寄せられ、授業改善へのヒントを得る機会となりました。

○ 北海道秋の学び推進月間の取組

「考え・議論する道徳」への質的転換をテーマとした公開研究会の開催

帯広市立帯広第二中学校では、今年度「豊かな心で、たくましく生き抜く生徒を育む道徳教育の充実」を研究テーマとして全校で道徳科の授業改善に取り組んでいます。11月1日に実施された公開研究会では、管内から約100名の先生が参加し、「考え・議論する道徳」への質的転換を目指した研究授業を行いました。



【公開授業の様子】

また、研究協議では、中心的な発問を柱とした協議を行い、参加者から「考える必然性や切実感のある発問、物事を多面的・多角的に考えることができる発問が大切であることが分かった」などの声が寄せられ、校内研究の取組に大きな成果が見られました。

次年度の道徳科の完全実施に向け、中学校における一層の授業改善を進める必要があると考えています。

「北海道学び推進月間」標語

- ☆**最優秀作品**☆ 北海道帯広盲学校 3年 原 田 勇 希 さん
「学び合う 今のぼくらが 未来を創る」
- ☆☆**優秀作品**☆☆ 足寄町立螺湾小学校 2年 齊 須 望 未 さん
「おはなしを きちんと聞くよ グーペタピン」
- 帯広市立大空中学校 1年 南 愛 乃 さん
「今学び 未来に生かす その知識」
- 北海道清水高等学校 3年 大 橋 一 晴 さん
「育てよう 知識の種と その花を」

今年度もたくさんの作品を応募いただきありがとうございました。